

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 久慈地方農業農村活性化推進協議会

取材担当 久慈農業改良普及センター 吉田昌史

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、新規就農者の確保・育成に向け、岩手県農業公社の事業を活用し、関係機関・団体等との連携による支援を行っています。

次代の農業を担う岩手県立農業大学校生や久慈東高校生等に対しては、若手農業者の圃場の様子を現場から生配信するオンライン視察や農作業体験を行う研修会の開催により、久慈地域農業への理解を深めてもらう活動を行っています。

また、新規就農者の確保に向けた取組としては、市町村、農協、県が一体となったワンストップ就農相談会を毎月開催しており、青年等就農計画の作成や資金調達、農地の確保などの助言を行うほか、地域の農業農村指導士との交流会や先進地視察、経営力向上のための研修会などの開催により、就農前から就農後も、発展段階に応じたサポートを行っています。

これらの活動により、久慈地域の令和4年度の新規就農者数は41人で、目標数を確保しています。

協議会では、引き続き、久慈地域農業の魅力を発信するとともに、地域を担う農業者としての新規就農者の確保・育成・定着支援を行っていきます。



久慈東高校生の農業現場視察



オンライン農業現場視察